

# 授業マイスター研修講座(中学校社会科)

授業マイスター 北中学校 教諭 濱野 洋介

担当指導主事：塩家 崇生

キーワード：若手教員の育成 授業デザイン 思考ツールの活用 生徒の思考力・判断力 深い学び

## 1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
11月12日(火)	北中学校 濱野 洋介 教諭	北中学校 2年3組教室 公開授業・事後協議	「中国・四国地方 交通の整備と人々の生活の変化 (第2学年)」

## 2 主な内容

(1) 「中国・四国地方 交通の整備と人々の生活の変化(第2学年)」

### ① 単元の見どころ

交通網の整備による他地域との結びつきの変化や、過疎地域での取り組みに注目して、中国・四国地方の特色を追求する。

### ② 展開の仕方

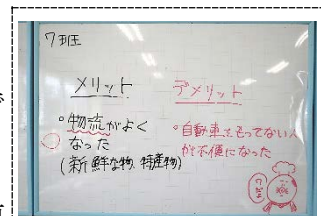
中国・四国地方と他地域の結びつきについて、特に本州四国連絡橋に着目し、3つのルートで地域間が繋がったことにおけるメリットとデメリットを比較、考察し、視覚的にまとめることを中心に行った。

### ③ 思考ツールを活用した場面と、活用理由について

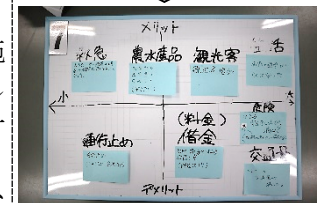
交通網の整備によって起こった事象をもとに、メリットとデメリットを整理すると同時に、その事象が社会に及ぼした影響の範囲や、経済的効果等の度合いにも着目するため、思考ツールとして「座標軸」を用いた。それぞれの事象を付箋にまとめ、その付箋を相対的に座標のどこにプロットするべきかを考えることで、単純に「良い」「悪い」を判別するだけでは見えてこない新たな社会事象や課題を見つけるために思考ツールを活用した。

### ④ まとめ

座標で考えた内容をもとに、「今後本州国連絡橋をどのように活用していけばよいか」という点について課題解決と有効活用の両面から考えさせ、自分の意見をまとめさせた。



「座標」使用前に4人の班で考えさせたメリットとデメリットをまとめたもの。



上の写真と同じ班が「座標」を使用して考えまとめたもの。単純にメリットデメリットを考えるだけでは出なかった意見や視点が見られる。

## 3 成果と課題

(1) 成果

① 思考ツールを活用した授業づくりを提案できた。

② 思考ツール「座標軸」の活用により、生徒は単純な二元論に陥ることなく多角的に考えることができ、思考の幅を広げることができた。

(2) 課題

① 授業参観者が少なかった。若手教員の授業力向上を目的とし、思考ツールを活用した「深い学び」の授業の提案を行ったが、当初の目的が果たせなかった。授業参観者が増えるように日程調整を工夫する必要がある。

② 授業者の力量不足により「深い学び」に到達できていない面がある。一例として、生徒の意見を取りあげきれず、生徒が新しい発見や気づきのチャンスをつかみ損ねる場面があった。授業者が生徒の「深い学び」とは何かをより追求する必要があると思われる。